

# 中之又小だより

聡く・美しく・遅しく

NO7 平成20年6月10日

梅雨に入り、晴れの日もありましたが雨降りの日が多く涼しい日が続いています。この時期は紫陽花が鮮やかな色を楽しませてくれます。先日ミユキさん、正子さんがいろんな紫陽花を持ってきてくれました。白や青、ピンクの額紫陽花もあります。しばらくは、玄関を賑やかに飾ってくれそうです。

学校は、先週もたくさんの行事がありました。MRTスクーピーの取材、梅ちぎりと梅干し作り、民生委員児童委員さん方の学校訪問、南極の氷贈呈式と新聞社の取材です。来客もいっぱいでした。中之又ならではの教育を推進しながら、学校を理解していただくためにいろんな方に学校に来ていただくのは良いことだと考えています。子どもたちはいろんな場で自分の考えや思いを表現する場がありました。きっと自信につながっていることと思います。

## 南極の氷贈呈式

6月6日(金)に自衛隊宮崎地方協力本部のご厚意により中之又小学校で南極の氷の贈呈式がありました。

はじめの会で贈呈式をした後、南極観測船「しらせ」が持ち帰った氷について学習しました。質問したり話を聞いたりした後、みんなで直接氷を触ったりして、五感を使って観察しました。

氷は2000m地下の氷床から取り出したものです。2~3万年前の空気を圧縮して閉じこめており、氷のかけらをコップの水に入れると、炭酸水のようにブツブツと音を立てました。2~3万年前の空気が溶け出した氷から出てくる音だそうです。

また、南極大陸についても映像を使って詳しく説明していただきました。広大な大陸が雪氷で覆われ、ペンギンやアザラシ、クジラなどが生息していることが分かりました。



現在、環境問題として地球温暖化が問題になっています。南極の氷が全部溶けると、海面が50m~70m上昇し、南極の動物は絶滅し、海面から低い土地は海に沈むそうです。

温暖化を防止するためには自分たちでできることを考えて、一人一人が行動することが大切だと学習しました。ゴミを減らすことや電気をこまめに消すことも

温暖化防止になります。

地球最南端の南極からやってきた希少な一塊の氷で、地球規模の学習をすることができました。

このような貴重な学習機会を提供してくださった町当局や自衛隊関係者等にお礼を申し上げます

## 民生委員児童委員の学校訪問

6月6日(金)木城町の民生委員児童委員の皆さんと児湯福祉事務所の関係者が中之又小学校を訪問しました。日頃から木城町内の福祉向上のために活動している民生委員の皆様方に心からお礼申し上げます。短い時間ではありましたが、学校経営の概要をお聞きいただいた後、授業を参観していただきました。

## 応急手当講習会

6月5日、職員研修として、もしもの時に備えて心肺蘇生法とAEDの使用手順について講習を受けました。講師は東児湯消防組合木城分遣署の署員の方です。心肺停止の場合は心臓マッサージが重要であることを学びました。基本的には心臓マッサージ30回と人工呼吸2回を組み合わせて繰り返します。勇気ある応急手当が大切な人の命を救うことを教わりました。

## 梅干し作り

校庭に実った梅を収穫して、カリカリ漬けにしました。講師はカリカリ漬け名人の中武正子さんです。収穫して、一晩水に浸して、翌日水を拭き取り塩漬けにしました。梅酢が出てきたので、みんなで赤紫蘇を塩もみして漬け込みました。どのように梅が漬かるのか楽しみです。きつとご飯給食が美味しくいただけると思います。